

大阪公立大学医学部附属病院長候補者選考規程第 11 条に基づき、次のとおり公表する。

## 1 選考結果

次の者を病院長候補者とする。

氏名 中村 博亮（なかむら ひろあき）

現職 大阪公立大学医学部附属病院 副院長（病院長職務代理者）

大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学 教授

## 2 選考過程

2022 年 8 月 16 日（火） 第 1 回候補者選考会議

2022 年 8 月 18 日（木） 候補者推薦募集開始

2022 年 8 月 31 日（水） 候補者推薦募集終了

2022 年 9 月 1 日（木） 第 2 回候補者選考会議

2022 年 9 月 16 日（金） 第 3 回候補者選考会議

2022 年 9 月 21 日（水） 第 4 回候補者選考会議

## 3 選考理由

推薦された候補者は、中村博亮氏 1 名であったことから、所信表明書等の書類、プレゼンテーション及び質疑応答により、同氏の病院長候補者としての適格性について審議を行った。

同氏は、大阪市立大学医学部附属病院の病院長補佐を 2 年、副院長を 8 年務めたのち、現在は、病院長職務代理者として医学部附属病院の管理運営を担っている。医療安全については、病院内外の関連する委員を多数務めたのち、医療安全センター長（医療安全管理者）を 2 年務めた。自身が医師を目指すきっかけとなったエピソードや、インシデントに対する考察からも医療安全に対して真摯な姿勢を持ち、深く理解していることが伺われた。病院経営については、基本的な経営指標を押さえながら、これまで行われてきた病棟再編などのハード面での強化を活かし、評価の仕方などソフト面での改善を行っていくことが示された。地域医療連携については、アクセスの良さを活かすだけでなく、リモートカルテシステムによる患者情報や治療方針の共有化を進め、さらなる病診・病病連携強化に努めていく方針が示された。その他、臨床研究の推進については、同じ大阪公立大学の獣医学、看護学、リハビリテーション学など連携できる組織の多さを活かしていくこと、高度の医療技術については、AI 等の活用を進めていくこと、国際化については、外国人修練指導医制度を進めていきつつ情報発信を強化していくこと、災害対策については平時にこそ職員への対策マニュアルの浸透を図っていくことなど、医学部附属病院における様々な課題について、一つ一つの確な課題認識と強い達成意欲が示された。

プレゼンテーションと質疑応答では一つ一つ丁寧に応対されており、候補者の実直な人柄が伺われると共に、単に強いだけではないリーダーシップの発揮を期待させるものであった。

以上により、候補者は、病院長に求められる資質・能力を十分に備えており、大阪公立大学医学部附属病院を更に発展させていくことが期待できるものと判断し、全会一致で病院長候補者として推薦するものである。